

平成30年度活動方針（案）

【活動方針】

我が国経済は、先行きのリスクとして海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等の影響に留意する必要があるものの、内需を中心とした景気回復が見込まれている。しかし、国内では働き方改革の推進、人手不足問題の解消、少子高齢化や人口減少に対する対策などの課題に積極的に取り組まなければならない。

また、鳥取県では雇用・所得環境の改善はあるものの人材不足の問題や人口減少対策、地方創生の具体的な取り組みへの対応が求められており、鳥取県が策定した「鳥取県元気づくり総合戦略」を産業界のみならず様々な分野との取り組みにより成果を上げることが望まれている。

このような経済・社会環境の中で鳥取県内企業が有する創造性を如何なく発揮し、地域経済を活性化させるため鳥取県経済同友会としては、その責務を自覚して委員会活動を積極的に推進するとともにこれまで取り組んできた諸活動を継続し、特に「人口減対策」「観光戦略と観光振興」「産業振興」分野では様々な提言や活動を行うことで、地域のオピニオンリーダーとしての役割を果たしている必要がある。

来年10月に米子市で開催される第117回西日本経済同友会会員合同懇談会に向け実行委員会を組織し開催の準備をする。

以上のような認識に立ち、平成30年度においては、東部、中部、西部の各地区経済同友会の連携をより密にし、次の事業を重点的に取り組んでいくとともに各委員会は各テーマに沿った内容で活動をする。

【平成30年度の具体的取り組み事項】

1. 高速交通基盤の整備促進と要望活動の強化
 - ・山陰自動車道の早期完成への運動
 - ・地域高規格道路（北条・湯原道路）の早期整備促進
 - ・鳥取砂丘コナン空港、米子鬼太郎空港、境港等交通インフラの総合的整備への運動
 - ・山陰地区における高速鉄道（新幹線を含む）の整備について
2. 広域観光・インバウンド観光の推進
3. 「鳥取県元気づくり総合戦略」（地方創生）の推進
4. 雇用促進・人材育成への取り組み
5. 2つの世界ジオパーク（山陰海岸ジオパーク・隠岐ジオパーク）を活かした広域観光振興
6. 境港拠点港整備と北東アジアとの経済交流推進
7. 東南アジアとの経済交流推進

8. 第1次産業との相互連携による幅広い施策の展開
9. 第117回西日本経済同友会会員合同懇談会の開催準備
10. 岡山、島根経済同友会との合同懇談会開催
11. 経済同友会（全国・西日本・関西）の主催する各種会議、懇談会への積極的参加
12. 時宜に適った積極的な政策提言活動の展開
13. 行政機関・友好経済団体との連携と交流活動の推進
14. 組織運営（財政基盤の再構築）と情報活動の充実強化
15. 自立した財政基盤の強化活動（新入会員増強運動の展開）
16. その他目的達成に必要な事業の実施

『地区別の主な事業』

<東部地区>

鳥取県東部圏域企業が有する創造性を如何なく発揮し、地域経済が活力を取り戻すため、当東部地区としては、その責務を自覚してこれまで取り組んできた諸活動を継続して取り組むとともに、さらに活発化させて、交通基盤を活かした地域づくり、広域観光、教育問題、人材育成（グローバル人材）、雇用創造、移住・定住の促進などの課題について取り組むとともに、地域社会におけるさまざまな課題に対して積極的に提言活動を展開していく。

- ・月例会・7委員会による積極的な活動と政策提言
- ・行政機関・友好経済団体等との連携と広域交流活動の推進
- ・各種経済同友会の合同懇談会、ブロック大会等への積極的参加
- ・アワード制度の継続
- ・スポーツ・文化の振興、発展とスポーツ施設を活用した人材育成の研究
- ・「因幡新風土記」づくり
- ・広域観光連携の推進、国際線チャーター便などの誘致について
- ・「地販地消」活動の推進による地域活性化
- ・山陰海岸ジオパークの認定や山陰近畿自動車道整備等を踏まえ神戸経済同友会（但馬部会）との連携強化
- ・人口減少の克服、移住定住に関わる課題研究

【委員会活動】

平成30年度の活動方針（案）に基づき、委員会活動は、各分野の課題について活発な委員会運営を進める。

総務委員会、教育文化委員会、地域学委員会、広域観光委員会、地域経済活性化委員会、移住・定住委員会、岡山・但馬交流委員会（7委員会）

<中部地区>

中部地区の抱える課題を掘り下げるとともに中部地域経済の活性化を強力に推進

めるべく、平成 30 年4月にオープンした『円形劇場くらしフィギュアミュージアム』、中部への建設が決定した『鳥取県立美術館』の利活用による「中部はひとつ」の再認識と活性化に向けての地域連携強化の取組みを展開させる。

併せて各種機関・団体と連携を保ちながら必要に応じた活動を行っていくとともに、会員相互の研鑽と親睦を図り、組織の拡大も含めさらに充実した活動を展開していくものとする。

【重点事業】

- ・中部地域の連携、観光・産業資源とインフラ連携強化に向けた活動
- ・フィギュアミュージアムと県立美術館の利活用による地域活性化推進
- ・鳥取看護大学への各機関と連携した積極的な協力・育成・支援
- ・会議、研修会、講演会の開催
- ・各種情報収集及び調査研究
- ・県同友会をはじめ各種機関、団体との連携・協調
- ・会員相互の親睦、交流
- ・会員の増強

<西部地区>

我々経済同友会は常にこの地域の活性化を基本理念にここまで活動してきたと自負しているが、他地域と伍して我々の地域を活性化する為には何が必要か、何をすべきか方向を誤ることなく日々の活動を進めていきたい。

具体的には、我々が、長く提言してきた鳥取大学医学部及びその附属病院との連携、中海・宍道湖・大山圏域の市町村、経済団体とも更に連携を図り、この地域の総合的な活性化に向けた活動を更に加速させたい。昨年度、多方面の関係者の方々より高い評価を頂いた以下の取組を基本に、新たな視点も加え実効性のある提言を複数打ち出せる存在でありたい。

又、本年は大山開山1300年祭の年であり、多くの観光客の方にお越し頂けると期待している。この地域の観光振興は、我々が長く提言し続けてきたテーマであるが、来年以降のこの地域の為に何をすべきかという議論も開始したい。

- ・鳥取県西部地区の強みを再認識し、人口減少、健康・環境問題等も視野に入れた地方創生のプログラムの提言
- ・北東アジア及びアセアン諸国の経済情勢を地域の仕事に活かす取組
- ・鳥取県西部総合事務所との連携強化による農業振興を含む地域経済成長戦略の策定
- ・経済界と教育行政との交流を含む教育問題への取組
- ・中海・宍道湖・大山圏域の観光・経済両面での発展に向けた連携
- ・この地域の特性を活かした観光戦略(インバウンド観光振興を含む)の策定
- ・鳥取大学医学部との連携による地域活性化への取組
- ・女性経営者・管理職の活用に向けた取組

- ・ 境港地区の重要港湾の認知と活用に向けた取組及び水産業の振興策の検討
- ・ 地域の歴史・伝統・文化を継承する為の取組

【委員会活動】

総務委員会、地域創生検討委員会、国際経済委員会、鳥取県経済成長戦略検討委員会、教育問題委員会、鳥取島根合同委員会、観光戦略特別委員会、鳥取大学医学部連携特別委員会、女性活性化特別委員会、境港活用特別委員会、ふるさと教育特別委員会など

17. 各種の合同懇談会、ブロック大会等への積極参加

- ◇ 第31回全国経済同友会セミナー（宇都宮市）
平成30年4月19日（木）～20日（金）
- ◇ 第5回西日本経済同友会代表者会議（大阪市内）
平成30年7月20日（金）
- ◇ 第26回岡山・鳥取県経済同友会合同懇談会（新見市）
平成30年10月2日（火）
- ◇ 第116回西日本経済同友会会員合同懇談会（高松市）
平成30年10月12日（金）～13日（土）
- ◇ 第11回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット（あわら市）
平成30年11月8日（木）～9日（金）
- ◇ 全国経済同友会代表幹事円卓会議（米子市）
平成30年11月12日（月）
- ◇ 第45回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会（鳥取県）
（開催時期未定）
- ◇ その他当会の所属する各種団体会議の参加、出席